

2018年度 KSEA

関西教育行政学会

会 報

第 12 号

The Kansai Society for Educational Administration

〒606-8501

京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科内
関西教育行政学会事務局

TEL & FAX: (075)753-3080

Mail: kansaisea@gmail.com

ホームページ <http://ksea.jp/>

■□■ 2018年度第34回大会のご案内 ■□■

【日時】 平成30年12月2日（日）午前10時から午後5時20分

【場所】 京都大学吉田キャンパス 文学部校舎2F 第7講義室
（詳細につきましては下記の地図をご参照ください。）

【大会参加要領】

1. 受付

9時30分から、文学部校舎2Fにて行います。

※大会参加費1000円（一般会員、学生会員、当日会員とも）

2. 大会プログラム

大会プログラムは当日、受付にて配布いたします。

3. 昼食

会場周辺の食堂をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。

4. 年会費

大会当日に、来年度（2019年度）の早期納入割引会費

（一般会員6,000円、学生会員3,500円）の受付を設置いたします。

※ **大会および忘年会の出欠について、同封の葉書またはメールにて、11月29日（木）17:00必着でご返信下さいますようお願いいたします。会場設営の関係上、必ずご返信をお願い致します。**

【会場案内】

「京都大学吉田キャンパス 文学部校舎」

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 Tel 075-753-2700

京都大学吉田キャンパスへのアクセス

【路線案内】

主要鉄道	利用交通	乗車バス停	市バス	市バス経路	所要時	下車バス停
JR/近鉄 京都駅から	市バス	京都駅前	□ 206系統	「祇園・北大路バスターミナル」行	約35分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「四条河原町・銀閣寺」行	約35分	百万遍
阪急 河原町駅から	市バス	四条河原町	□ 201系統	「祇園・百万遍」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「出町柳駅 百万遍 銀閣寺」行	約25分	百万遍
			□ 3系統	「北白川仕伏町（上終町・京都造形芸大）」行	約25分	百万遍
地下鉄 烏丸線 烏丸今出川駅から	市バス	烏丸今出川	□ 203系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約15分	百万遍
			□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約15分	百万遍 または京大正門前
地下鉄 東西線 東山駅から	市バス	東山三条	□ 206系統	「高野・北大路バスターミナル」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 201系統	「百万遍・千本今出川」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約20分	京大正門前 または百万遍
京阪 出町柳	徒歩	(東へ)			約20分	
	市バス	出町柳駅前	□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約10分	百万遍 または京大正門前
			□ 17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約10分	百万遍

※上記路線図は京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/) より引用いたしました。

【周辺地図】



※大会会場の文学部校舎は地図中[8]の建物です。

※上記地図は京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/)より引用いたしました。

【大会日程】

開始時刻	内 容	会 場
9 時 30 分～【受付】	大会参加費 1,000 円（一般会員、学生会員、当日会員とも）	文学部校舎 2F 第 7 講義室 前
10 時 00 分～【自由研究発表】	「韓国の学校自律化政策と小規模校 －小規模校を学校改革の拠点とする教師たち－」 尾崎 公子 会員（兵庫県立大学） 「ラトビア共和国の地方教育行政に見る 『専門性』とリーダーのキャリア、資格、任用 －日本の地方教育行政に求められる『教育行政専門性』の再検討に向けて－」 堀内 孜 会員（千里金蘭大学）	文学部校舎 2F 第 7 講義室
12 時 00 分～【昼食】	会場周辺の食堂をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。	
12 時 00 分～12 時 30 分	〈紀要編集委員会〉	総合研究 2 号館 第 4 演習室
12 時 10 分～13 時 10 分	〈シンポジウム打ち合わせ〉	総合研究 2 号館 第 5 演習室
12 時 30 分～13 時 20 分	〈理事会〉	総合研究 2 号館 第 3 演習室
13 時 30 分～【大会シンポジウム】	「エビデンスに基づいた教育政策の形成の課題と可能性」 パネリスト： 惣脇 宏 会員（京都産業大学） 森田 正信 氏（京都大学理事） 桐村 豪文 会員（弘前大学） 司会： 服部 憲児 会員（京都大学） 川上 泰彦 会員（兵庫教育大学）	文学部校舎 2F 第 7 講義室
16 時 30 分～【2018 年度総会】		文学部校舎 2F 第 7 講義室
18 時 00 分～【忘年会】〈会費〉	一般会員 4,500 円 学生会員 3,000 円（予定）	百万遍 しゃらく

【大会シンポジウム趣旨】

エビデンスに基づいた教育政策の形成の課題と可能性

近年、財政赤字の増大による公財政の状況悪化に伴って、効率的な資源配分が強く求められ、その重要性がますます高まっている。限られた財源をより有効に使用するために、高い効果が予測される政策、費用対効果が高いと考えられる政策に、より重点的に費用を投入しようとする傾向にある。そして、そのための手段として、「エビデンスに基づいた政策形成（EBPM：Evidence-Based Policy-Making）」に対する関心が高まっている。これは各国に共通して見られる動向であり、むしろ我が国は遅れを取っていると言える。しかしながら、とりわけ近年において、これまでの政策立案はエピソード・ベースであったとの批判がなされるようになり、主として数量的データを、統計的手法を用いて実証的に分析した結果に基づいた政策形成、すなわちEBPMの実行が強く要請されている。

EBPMを導入することにより、限られた資源の有効活用を図ることができるという利点があるとされる。効果的な政策の実施によって、より効率的に国民の生活水準の向上や社会状況の改善が達成され、そのことによって納税者としての国民の理解・納得が得やすくなることが期待されている。

その一方で、EBPMの実行には、エビデンスの信頼性、方法論上の問題、EBPMの結果生じる経済主体の行動変容など、多くの課題や困難があることも指摘されている。データをいかに収集するのか、どのように解釈するのか（相関関係と因果関係の正確な理解、疑似相関への注意、複雑な要因の絡み合い等）、どう活用するのか、本末転倒になっていないか（政策に基づいたエビデンス形成）、物理的制約（費用の問題）、倫理的問題、バイアスの問題などである。

我々が研究対象としている教育の領域においては、様々な要素が複雑に絡み合い、また数値化するのが困難な事柄の多く、他の領域よりもEBPMへの対応が難しいと考えられる。しかしながら、EBPMに背中を向けて無視すれば、効率的な財政運営に非協力的とのレッテルを貼られ、予算の獲得がいっそう困難なものとなるであろう。好むか好まざるかにかかわらず、EBPMに對峙していくことは不可避な状況にあると言わざるを得ない。

以上より、本シンポジウムでは、教育行政においてエビデンスの要求にどのように対応していくべきかを問うていきたい。そこにはどのようなエビデンスが必要なのか、それをどうやって収集するのか、EBPMの「メリット対デメリット」はどのようなものか、そもそも教育の領域にEBPMは可能なのか、研究者はどのように関わるべきなのか等を、シンポジストの報告をもとに、考えていきたい。

このため、まず惣協宏会員には、EBPMが注目されるに至った背景、国際的動向も含めたその現状、それが抱える課題など、教育政策におけるエビデンスについて総論的に御報告いただく。次に、森田正信氏には、教育行政の現場におけるエビデンスをめぐる実情、問題点、克服すべき課題などについて、教育政策の最前線で実務に携わる立場から御報告をいただく。最後に桐村豪文会員には、教育および教育政策におけるエビデンスの在り方について、その理論や最新の研究動向を御報告いただく。これらの報告をもとに、本テーマについて会員間の知識・理解の一定の共有化を図りつつ、奇譚のない意見交換の場としたい。

大会担当理事 服部 憲児

1. エビデンスに基づく教育と教育政策
—歴史・現状・課題— 惣協 宏 会員（京都産業大学）
2. 教育行政におけるEBPMの取り組み状況について 森田 正信 氏（京都大学理事）
3. 教育政策におけるエビデンスの在り方
—その理論と研究動向— 桐村 豪文 会員（弘前大学）

□■□ 事務局より □■□

【紀要第 46 号への投稿申込について】

『教育行財政研究』第 46 号（2019 年 3 月発行予定）の「自由研究論文」及び「研究ノート」への投稿申し込みを受け付けています。「自由研究論文」への投稿資格は、2017 年 1 月例会から 2018 年 12 月例会（大会）において発表した会員です。なお、「研究ノート」は、その性質上、例会・大会でいまだ発表していない場合でも投稿可能です。

投稿資格を有し、かつ投稿を希望する会員は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、件名「投稿申込」として 11 月 30 日（金）17 時までに事務局（kansaisea@gmail.com）までメール添付でお送りください。所定の申し込み用紙は、学会 HP（<http://ksea.jp>）からダウンロード可能です。なお、原稿の投稿締め切りは 2019 年 1 月 10 日（木）17 時です。ご不明な点などございましたら事務局までお問い合わせください。

【例会報告のお願い】

例会報告をご希望の方は、例会担当の高田理事、開沼理事もしくは事務局までご連絡をお願いします。

【会費納入のお願い】

2018 年度学会費を未納の方は、早急に納入をお願いいたします。一般会員は 7,000 円、学生会員は 3,500 円です。名誉会員については会費の納入は不要です。また来年度（2019 年度）学会費につきましても、大会受付時にお支払いいただけます。なお、3 月例会までの月例会出席時に直接お支払いいただくと、一般会員は 6,000 円となります。会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座番号： 01000-8-34227 加入者名： 関西教育行政学会

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	109
店名（カナ）	一〇九店（イチゼロキュウ店）
預金種目	当座
口座番号	0034227
カナ氏名 （受取人名）	カンサイキョウイクギョウセイガツカイ （全て大文字）

【事務局からのお願い】

所属、住所、メールアドレス等が変更になりましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

【事務局の連絡先】

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

電話：075-753-3080

Mail：kansaisea@gmail.com

忘年会のご案内

【日時】平成 30 年 12 月 2 日（日） 午後 6 時より

【会費】一般会員 4,500 円程度、学生会員 3,000 円程度

※参加人数により多少変動する可能性があります

【会場】百万遍 しゃらく（〒606-8225 京都市左京区田中門前町 59）



(上図は、Google マップ (<http://maps.google.co.jp/>) より引用しました。)